

# ともに考えよう まちづくりミーティング

平成27年2月14日(土) 18時30分から  
於 金沢市教育プラザ富樫 1号館2階121研修室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢マラソン	(平成27年1月)
プロモーションCM	(平成26年1月)
金沢の夜景	(平成25年2月)

今回放映しました、市政  
紹介動画は金沢市のHP  
“いいね金沢”  
でご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の説明
- (5) 課題に対する市の方針等の説明
- (6) 討議
- (7) 市長 まとめ など

※恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。

お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

平成26年度第5回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	富樫校下町会連合会
課題	防災に関する道路について
課題の内容	<p>富樫校下は、区画整理前に住宅が出来はじめたため、道路の幅員が大変狭い地域であるので、防災を考えると不安である。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 金沢外環状道路（山側幹線）に寸断され袋小路となった道路             <ol style="list-style-type: none"> <li>① ② 窪2丁目交差点 窪バス停の前後</li> <li>③ 山科1丁目交差点～山科2丁目交差点間の山科1丁目側</li> <li>④ 大乘寺丘陵公園口 山科2丁目側</li> </ol> </li> <li>2 葵が丘団地からの出口 停止線をつけたが冬場止まれない。亀甲模様や筋の入った滑り止め道路にできないか。</li> <li>3 円光寺交差点 バス停前 旧街道沿いの水路が、深くて危ない。転落防止などの対策をとれないか。</li> <li>4 そのほかにも、町内あちこちに道路の幅員が狭いところがある。</li> </ol>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の側溝を利用できないか？ グレーチング等をかけて、除雪に支障をきたすことなく、道幅として利用できないか。</li> <li>・ 袋小路で行き止まりになる、通り抜け出来ない道路で周囲に障害となる建物がない場合、Uターン地帯を設けられないか？</li> </ul>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災で避難所マップを配布している。</li> <li>・ 葵が丘団地からの出口となるT字路は、危ないので町会として停止線をつけたが、団地の住人から急坂のため冬場止まれない、という声が挙がっており、対応に苦慮している。</li> <li>・ 昔からの集落に集会場はあるが、町会としてはないので、地域サロンとして利用できる場所を新たに確保したい。 学校開放により、富樫小学校体育館を地域で利用しているが、文化祭などで空き教室も利用できるようにして欲しい。</li> <li>・ 金沢マラソンには、学校向いの農協の土地を応援所としてランナーへの「おもてなし」を行う予定。</li> </ul>

提出課題についての市の方針等 1 - (1)

<p>課 題</p>	<p>防災に関する道路について</p> <p>富樫校下は、区画整理前に住宅ができ始めたため、道路の幅員が大変狭い地域であるので、防災を考えると不安である。</p>
<p>特に話し合いたい内容、聞きたい事項等</p>	<p>1 金沢外環状道路（山側幹線）に寸断され袋小路となった道路で、周囲に障害となる建物がない場合、Uターン地帯を設けられないか。</p> <p>2 葵が丘団地からの出口、停止線をつけたが冬場止まらない。亀甲模様や筋の入った滑り止め道路にできないか。</p> <p>3 円光寺交差点バス停前、旧街道沿いの水路が深くて危ない。転落防止などの対策をとれないか。</p> <p>4 町内あちこちに道路の幅員が狭いところがある。道路側溝にグレーチング等をかけて、除雪に支障をきたすことなく、道幅を広く利用できないか。</p>
<p>市の方針等</p>	
<p><b>1 寸断され袋小路となった道路にはUターン地帯を設けられないか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地区には、市道や私道に通り抜けのできない道路が、幾つか存在することは承知しています。ご指摘のUターン箇所（転回場）の設置は有益な点もありますが、放置車両やゴミの投棄、違法駐車の問題も発生するなどの課題もあります。</li> <li>・市道である窪2丁目地内の山側環状により寸断されている道路については、既に車両が転回できる空間が確保されています。</li> <li>・その他、山側環状により寸断されている道路は金沢市道以外の道路であり、地域で管理しているものです。</li> </ul> <p>こうした道路に自動車の転回広場を設けるためには、用地の提供や整備費の負担などについて、地域で調整していただく必要があります。その際に、条件を満たせば本市として整備費の一部を補助する制度もあることから、具体的にご相談いただきたい、と思います。</p> <p><b>2 葵が丘団地からの出口、停止線をつけたが止まらない。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の安全性を高め滑りにくくする方策として、今冬の前に安全溝（グレーピング）の施工を実施しました。</li> </ul>	

### 3 円光寺交差点バス停前、旧街道沿いの水路が深くて危ない。

- ・町会長と相談のうえで、安全対策のため防護柵や視線誘導標、区画線の設置などを検討してまいりたい、と思います。

### 4 グレーチング等をかけて、除雪に支障をきたすことなく、道幅を広く利用できないか。

- ・富樫校下の一部では、住宅建設が早くから進み、当時の道路基準による狭い道路幅であることは承知しています。
- ・道路の側溝は、道路敷や隣接地からの雨水排水施設であるとともに、沿道敷地と道路の緩衝帯や、冬期の除雪した雪の置き場、農業用水路など、多目的に利用されています。
- ・金沢市では、歩行空間の確保のため側溝の老朽化の際に、側溝の暗渠化を行っている所もあるが、地元によっては暗渠化に反対されるケースもあるので、具体の要望に際しては地域で十分にご相談いただきたい、と思います。
- ・なお、具体の要望箇所については、現地を確認して地域と相談しながら検討してまいりたい。

担当課

道路管理課

電話 220-2321

提出課題についての市の方針等 1 - (2)

課 題	防災に関する道路について（その他）										
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	学校開放により、富樫小学校体育館を地域で利用しているが、文化祭などで空き教室も利用できるようにして欲しい。										
市の方針等	<p>1. 現在、富樫小学校は、通常学級、特別支援学級あわせて、20学級となっているほか、その他の教室も、少人数学級や音楽室等の特別教室、パソコンルーム等で使用しており、余裕教室はない状況と認識しています。 したがって、地域での常時利用は難しいと考えています。</p> <p>2. ただし、文化祭等での臨時的な使用については、学校側と相談していただきたい。</p> <p>(参考)</p> <table border="0" data-bbox="245 1294 895 1422"> <tr> <td>通常学級</td> <td>500人</td> <td>18学級</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>4人</td> <td>2学級</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>504人</td> <td>20学級</td> </tr> </table>		通常学級	500人	18学級	特別支援学級	4人	2学級	計	504人	20学級
通常学級	500人	18学級									
特別支援学級	4人	2学級									
計	504人	20学級									
担当課	教育総務課	電話 220-2431									

提出課題一覧表 2

町会連合会名	伏見台校下町会連合会
課 題	安全で住みやすいまちづくり
課題の内容	<p>1. 県道 窪・野々市線 (窪7丁目交差点～三馬3丁目交差点) の道路幅整備について</p> <p>2. 高齢者世帯の屋根雪下ろし援護対象条件の緩和について、 ○ 現状条件抜粋（一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援助ができる親族や扶養義務者が、金沢市内か隣接市町に居住していないこと。</li> <li>・ 親族や扶養義務者の援助が全く期待できない場合。</li> <li>・ 下ろした雪の除雪や運搬は対象外。</li> </ul> <p>本人の祖父母・親・兄弟自体がより一層の高齢者である場合が多くなってきており、「屋根雪下ろし対象世帯名簿」では実態を把握できず、真に援助を必要とする世帯が抜け落ちている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>1. 山側環状により日赤前の交通量が増大しており、数年前に要望をしている。車歩分離なく、ところどころに縁石がある。安全を確保する方策はないものか。</p> <p>2. 高齢者社会の中において、自助、地域の共助にも限界があり、金沢市の高所からの、市全域を踏まえた、対応・施策の見直しをお願いします。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所マップは配布しているが、指定避難所を一部伏見台小学校から、高尾台中学校に移したことで、町内道路にある避難所の案内を変更する必要が生じ、消火栓の場所を示すポールにある看板にシールをはっていく。関係する町会長に貼付を依頼している。</li> <li>・ 防犯灯の設置は30mの規則があるが、具体的な必要事例に応じて柔軟な対応は可能か。可能であれば、設置を考えたい所がある。</li> </ul>

提出課題についての市の方針等 2 - (1)

課 題	安全で住みやすいまちづくり (県道 窪・野々市線の道路幅整備)						
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	1. 県道 窪・野々市線（窪7丁目交差点～三馬3丁目交差点）の道路幅整備について						
市の方針等	<p>当該要望箇所は、県道窪・野々市線であることから、石川県央土木総合事務所に確認したところ、次のような回答を得ています。</p> <p>当該路線沿道には、金沢錦丘中学、高校、金沢赤十字病院、金沢工業大学、その他商業施設などが立地しており、学生や日常の買い物等の利用者が多い路線であることは認識しています。</p> <p>平成22交通センサス（測定箇所 三馬3丁目）</p> <table data-bbox="319 981 798 1108"> <tr> <td>自動車</td> <td>7, 273台/12h</td> </tr> <tr> <td>歩行者</td> <td>282人/12h</td> </tr> <tr> <td>自転車</td> <td>991台/12h</td> </tr> </table> <p>要望区間（約700m）においては、商業施設等が立地しているところから、沿道利用を考慮したうえで、乗り入れタイプの歩車道境界ブロックを採用し、歩車道の分離を行っているところです。</p> <p>さらなる歩車道の分離対策においては、地元町会や商店街等のご意見もお伺いし、安全で利用しやすい歩行者空間の確保に努めてまいりたいとの回答でした。</p> <p>金沢市としても、交通安全の確保については、縣市連携して努めてまいりたい。</p>	自動車	7, 273台/12h	歩行者	282人/12h	自転車	991台/12h
自動車	7, 273台/12h						
歩行者	282人/12h						
自転車	991台/12h						
担当課	道路建設課 電話 220-2312						

## 提出課題についての市の方針等 2 - (2)

課 題	安全で住みやすいまちづくり	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	高齢者世帯の屋根雪下ろし援護対象条件の緩和について 自助、地域の共助にも限界があり、金沢市の高所からの、市全域を踏まえた、対応・施策の見直し	
市の方針等	<p>1. 現行の屋根雪下ろしは、高齢・身体障害・母子世帯等において、親族・家主等に屋根雪下ろしを行う人手がない世帯に対し支援する制度で、高齢者であることのみを要件とする制度ではありません。</p> <p>2. 対象者の把握については、毎年、民生委員の方にお願ひし、前年の「屋根雪下ろし対象世帯名簿」を加除・修正していただき、当年度の名簿を作成していますが、民生委員の方だけで対象者をすべて把握するのは難しく、ご指摘のありましたように、真に援助を必要とする世帯が抜け落ちることを防ぐためにも、町会の皆様には、日頃の見守り、近所付き合いの中で得られた情報の提供にも御配慮いただければと考えています。なお、親族や扶養義務者の居住状況に関わらず、真に援助を必要とする世帯がある場合は、御連絡いただければ、柔軟に対応したいと思います。</p> <p>3. 今のところ、下ろした雪の除雪や運搬を対象とすることは難しいと考えています。自助、地域の共助にも限界があるとのことご指摘がりましたが、市では現在、2つの地区で、「地域安心支え合いモデル事業」を実施し、地域のニーズに応じた活動に取り組んでいただいております。少子高齢社会における公私協働のあり方を、引き続き検討してまいります。</p>	
担当課	福祉総務課（母子・寡婦世帯）	電話 220-2278
	生活支援課（生活保護世帯）	電話 220-2292
	長寿福祉課（高齢者世帯）	電話 220-2288
	障害福祉課（障害者世帯）	電話 220-2289



提出課題についての市の方針等 2 - (3)

課 題	安全で住みやすいまちづくり（その他）	
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の周知について</li> <li>・防犯灯設置の柔軟な対応をお願いしたい</li> </ul>	
市の方針等	<p>【提案・提言に対する回答】</p> <p>伏見台校下では、これまでも地域防災マップを作成し全世帯に配布され、このたびは、消火栓の標識柱に設置している既存の避難誘導サインを独自に更新いただくなど、地域防災力の向上に積極的に取り組んでいただいております、改めて感謝申し上げます。</p> <p>防犯灯の設置について、30メートル間隔での設置という基本的なルールがありますが、防犯灯の設置位置の状況によって、必要な明るさが確保出来ない場合などには（例えば交差点の角をまたいで既存の防犯灯から30メートル以内等）30メートル以内であっても柔軟に対応させていただいております、具体的に相談いただきたい。</p>	
担当課	危機管理課	電話 220-2366

提出課題一覧表 3

<p>町会連合 会名</p>	<p>伏見台校下町会連合会</p>
<p>課 題</p>	<p>安全で住みやすいまちづくり (丘陵地(山林)の地籍調査の実施について)</p>
<p>課題の内容</p>	<p>◎丘陵地(山林)の国土調査法に基づく地籍調査の実施について          &lt;現状&gt;          ・富樫、伏見台地区は東部に富樫丘陵が位置し、以前は里山として整備されていたが、後継者問題、所有者の高齢化等により、荒廃化が進み境界不明が増加している。          ・当地区の丘陵地には清瀬、坪野、倉ヶ岳の3集落があり、高齢化が進み、すでに限界集落状態となっており、田畑、山林所有者の不明が増えつつある。          &lt;問題点&gt;          ① 災害対応          ・近年の異常気象で集中豪雨による山林崩壊や地震による斜面崩壊等で、地所の境界や復元が困難になる。          地籍調査により境界及び区画の数値化          ② 環 境          ・里山の荒廃により、有害鳥獣(猪、熊)の生息地となり、周辺田畑や住民への被害が拡大しており、地権者及び区割りが明確になることによりボランティアによる整備が可能となる。          「美しい伏見台を創る会」による里山整備事業          ③ 開発行為(山林)          ・近年、山地や山林を開発して宅地や工業団地、公共施設等の造成が想定され、地権者確認や境界確認等で問題が発生する事が思慮される。</p>
<p>特に話し合 いたい内 容、聞きた い事項等</p>	<p>※以上のことから、 本市では平地での地籍調査実施率は全国平均を大幅に下回り急がれるものの、山地の調査も過疎化、高齢化等深刻な状況にあり調査着手を強く要望する。</p>
<p>課題につい て、地域で の取り組 み、特に市 と協働で行 う事業の提 案・提言</p>	<p>&lt;参考&gt;          地籍調査の実施状況(平成25年度末現在)          ・平 地          全国：51% 石川県：15% 金沢市：30%          ・山 地(山林)          石川県：ほぼ0%に近い数値</p>

### 提出課題についての市の方針等 3-(1)

課 題	丘陵地（山林）の国土調査法に基づく地籍調査の実施について 〔富樫、伏見台地区の丘陵地区では、土地所有者の高齢化等により、荒廃化が進み境界不明が増加している。〕
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	本市では平地での地籍調査実施率は全国平均を大幅に下回り急がれるものの、山地の調査も過疎化、高齢化等深刻な状況にあり調査着手を強く要望する。
市の方針等	<p>金沢市での地籍調査業務の進捗率は、全体では30%ですが、市域の67%を占める林地を除くと74%で、むしろ全国平均より進んでいると言えます。</p> <p>ご提案の林地についての対応では、平成18年度から境界の確認を目的とした「金沢森林再生境界確認事業」等を実施し、平成28年度までに7,180ha、進捗率にして林地で33%実施し、これを加えると全体では48%となる予定です。</p> <p>林地については、今後も里山地域を中心に当該事業を推進し、土地に関わるトラブルの未然防止や災害復旧等の円滑化を図って行きたいと考えております。</p>
担当課	農業基盤整備課 電話：220-2215